

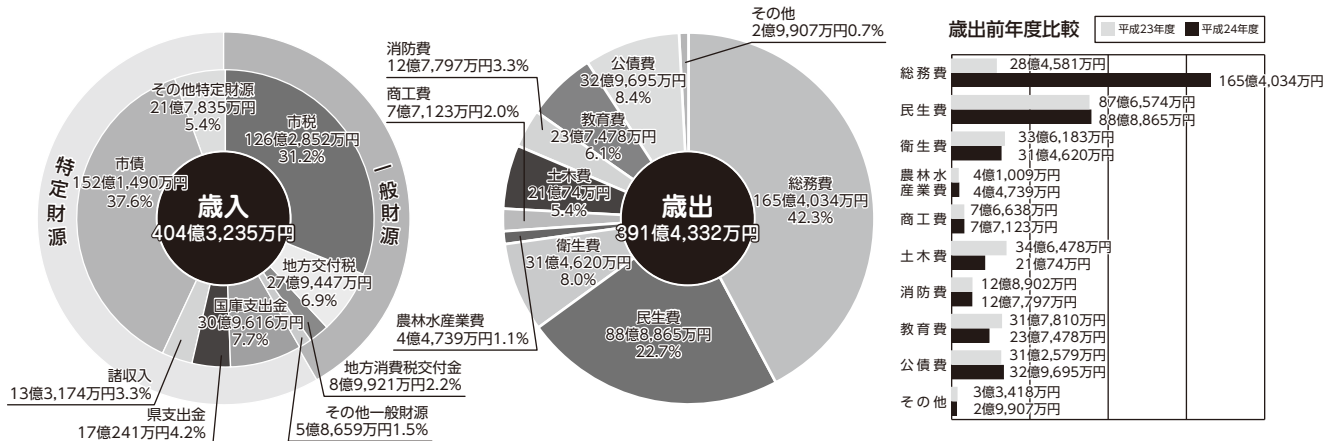
# 市の財政状況をお知らせします

市では、「上半期」「下半期」「決算」の3回に分けて財政事情を公表しています。今回は、平成24年度の決算状況をお知らせします。平成25年度上半期（4月～9月）の財政状況は12月1日号でお知らせする予定です。

**問合せ** 市財政課（4階）  
 ☎ (20) 1517  
 FAX (20) 1603

## 一般会計 決算の概要

市の一般会計は、平成24年度最終予算額420億4,363万円に対して歳出の総額は391億4,332万円となり、平成23年度決算額275億4,172万円と比べ、42.1%増加しました。また平成24年度の歳入は404億3,235万円となり、歳入から歳出を差し引いた形式収支は12億8,903万円、翌年度へ繰り越すべき財源などを除いた実質収支は10億7,506万円となりました。



### 【歳入】

・歳入総額：404億3,235万円（前年度に対し+116億4,652万円、+40.5%）

市税	皆さんに納めていただいた税金	評価替えによる固定資産税の土地・家屋の減、大手企業撤退による固定資産税の償却資産の減等により3億6,403万円減少しました。
地方交付税	国税の一部から、市の財政状況に応じて交付されるもの	税収減等による普通交付税の増等により、1億9,001万円増加しました。
国庫支出金	国からの負担金や補助金など	安全・安心な学校づくり交付金、きめ細かな交付金、社会資本整備総合交付金の減等により、3億2,025万円減少しました。
県支出金	県からの負担金や補助金など	障害者自立支援給付費等負担金、東日本大震災復興基金交付金の増等により、4,991万円増加しました。
諸収入	貸付金の元利収入・雑入など	土地開発公社貸付金元金収入、市町村振興宝くじ交付金の減等により、5億1,998万円減少しました。
市債	国や銀行などからの借入金	第三セクター等改革推進債、臨時財政対策債の皆増等により、128億1,050万円増加しました。

### 【歳出】

・歳出総額：391億4,332万円（前年度に対し+116億160万円、+42.1%）

総務費	市役所の全般的な経費	土地開発公社借入金代位弁済、財政調整基金積立金の増等により、136億9,453万円増加しました。
民生費	社会福祉・児童福祉などの経費	訓練等給付事業などの障害福祉費、生活保護費扶助費、国民健康保険事業特別会計繰出金の増等により、1億2,291万円増加しました。
衛生費	保健福祉・ごみ処理などの経費	清掃事業や火葬場・斎場事業、水道事業、病院事業等の長生郡市広域市町村圏組合への負担金の減、九十九里地域水道企業団出資金・負担金の減等により、2億1,563万円減少しました。
土木費	道路・公園・橋・河川の整備などの経費	土地開発公社債務償還、茂原駅前通り地区土地区画整理事業（債務償還を除く）、駐車場事業特別会計繰出金の減等により13億6,404万円減少しました。
教育費	小中学校、幼稚園の整備などの経費	小・中学校の耐震化に係る施設整備事業の減等により、8億332万円減少しました。
公債費	借入金の返済金	第三セクター等改革推進債元利償還金の増等により、1億7,117万円増加しました。

### ・市税の内訳

項目	平成24年度収入額	市民1人当たりの市税負担額
市民税	56億 6,041万円	61,148円
固定資産税	56億 1,861万円	60,696円
市たばこ税	7億 1,437万円	7,717円
都市計画税	4億 4,292万円	4,785円
その他の税	1億 9,221万円	2,076円
合計	126億 2,852万円	136,422円

人口 92,569人（平成25年3月31日現在）

### 用語の解説

#### ・一般財源と特定財源

市税や地方交付税など使いみちが特定されない財源を一般財源といいます。それに対して、国・県支出金や市債など、使いみちが特定されている財源を特定財源といいます。

#### ・市債

施設の建設や土木工事を行うための資金を調達するために行う国や銀行からのお金の借り入れのこと。

#### ・債務負担行為

将来の支払義務に対応するため、あらかじめ後年度の支払い期間と額を約束すること。